

レオス・キャピタルワークス、小中学生対象

「春休みワークショップ 投資家を体験してみよう！」開催のお知らせ

2024 年 3 月 4 日

レオス・キャピタルワークス株式会社

投資信託「ひふみ」シリーズを運用するレオス・キャピタルワークス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：藤野 英人、東証グロース：7330、以下「当社」）は、小学校 3 年生～中学 3 年生向けの春の金融教育ワークショップ「投資家を体験してみよう！」を 2024 年 3 月 23 日（土）に開催いたします。



■開催の背景■

レオス・キャピタルワークスは『日本にある人財・資本・知恵・技術などたくさんの資産「キャピタル」の「流れ（レオス）」をつくる工房「ワークス」でありたい』という想いから「資本市場を通じて社会に貢献します」を経営理念としている資産運用会社です。2008 年に運用を開始した投資信託「ひふみ」シリーズを始め、会社の運用資産残高は約 1.3 兆円を超え、お客様数は 100 万人を突破しています（※）

2022 年 4 月から高校で金融教育が義務化され、資産形成の授業がスタートしました。先行する諸外国の金融教育と比較し日本での学校での金融教育の実現は課題とされてきました。実際に金融教育の重要性を認識し、求める声が高まっています。私たちは、金融教育は“次世代の生きる力を磨く教育”であり、社会とのつながりの実感を得て、自らの人生を考える力、仕事観を育むものと考えています。高校生に限らず、未就学の段階、小学生、中学生の頃からお金や経済の流れを知ること、自分の力で生きていく力、未来を変える力を身につけることにつながると考えており、子どもから大人まで幅広い世代に向けた金融教育に取り組んでおります。

■「春休みワークショップ 投資家を体験してみよう！」の内容■

「投資家」と聞くと、企業業績や報告書を読み解き、日々の経済ニュースに目を光らせる、難解な仕事とイメージされているかもしれませんが。しかし実は、投資家は皆さんが日常的に目にするモノから投資のヒントを得ています。世の中の変化を常に観察し、企業を調査・分析して、お金を投資するのがプロの投資家の仕事です。

今回のワークショップでは、「コンビニのお菓子の棚」を題材に、投資家がどのように世の中を見て、投資のタネを見つけるのか、投資家になりきって体験していただきます。株価や決算書などの数字だけではわからない、企業の工夫や情熱に着目して投資する当社ならではの金融教育ワークショップです。

お子様の興味の幅を広げたい方、ゆたかな発想力を育みたい方、春休みの親子での体験会、是非ご参加ください。

■「春休みワークショップ 投資家を体験してみよう！」概要■

日時：2024 年 3 月 23 日（土）11 時～12 時 30 分予定

場所：レオス・キャピタルワークス セミナースペース

東京都千代田区丸の内 1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス(PCP)丸の内 27 階

JR 東京駅 八重洲南口改札より徒歩 4 分 アクセスは[こちら](#)

対象：小学校 3 年生から中学 3 年生のお子様と保護者 抽選で計 15 組 30 名様

内容：コンビニのお菓子の棚を題材に投資家のお仕事を学び、体験いただきます。

年代の近い小グループにわかれて、気づいたことやアイデアを話し合います。

ワークショップ終了後には「ひふみキッズ投資家 認定証」をプレゼント。

参加費：無料

お申込み：(締切り 3 月 15 日)

https://123.rheos.jp/seminar/seminar_form_noheader.do?openDate=20240323&seq=1

※運用資産残高は 2024 年 3 月 1 日時点、販売会社でのお客様数は当社推計、なお複数口座・複数商品を持つお客様は重複カウントしています。

■ご参考：レオス・キャピタルワークス金融教育の実績■

<https://labo.rheos.jp/m/m0576ca60116d>

<https://hifumi.rheos.jp/labofinancial-education/>